

業界課題の解決にも取り組んでいきたい。

荒木 悟

(営業部長 / 企画担当 / 児島学生服資料館館長)



もっと生の声

Q & A

—— 仕事の魅力を教えてください。

スクールユニフォームは画一的と思われているので、意外かもしれませんが、様々なデザインの制服を全国の学校に提供するクリエイティブな仕事が多いです。ユニフォームデザイナーを目指す人はぜひ児島に来ていただきたいです。

—— 印象に残っていることを教えてください。

あるとき、商品に不備が見つかり、一軒ずつ謝罪と交換にお伺いしたことがありました。大変でしたが、何とかご理解いただくことができました。しばらくして、その伺ったお客様から励ましのお手紙をいただきました。ありがたかったですし、もっと頑張ろうと思いました。その手紙は今でも大切に持っています。

—— どのような人と一緒に働きたいですか？

日本被服は、やる気があれば重要な仕事も任せてもらえる、働き甲斐のある会社です。スクールユニフォームが好きで、進化していける人と一緒に仕事がしていきたいです。

もともと紡績会社に勤務していたという荒木さん。スクールユニフォームに関心があり、前職の知識も活かせるということで、今の会社に入ったそうです。

「入社当初は、商品の出荷管理業務に携わっていました。年間出荷量の実に60%が2月、3月に集中していました。これが学生服業界の特徴であり、制服を入学式に間に合わせるということが学生服メーカーとしての使命でもあります。プレー1着を夜行列車で児島から金沢へお持ちしたことや、奈良まで靴下を受け取りに行き、そのまま佐世保までお届けしたこともあります。喜んでいただいたことすべて良い思い出です。」

商品企画に携わった際に、自分が企画した新デザインの制服が採用され、「この制服が着たかったです」と喜んでいただいた時には、格別の達成感があったそうです。

今考えていることは、業界で働く人たちにも貢献できる環境づくり。「お客様の理解を得ながら、採寸から受注までの作業の効率化など、業界課題の解決に取り組んでいきたいです。」

